## 軽量内装ガラス:プリュムシリーズ 施工要領書

AGC

Lacobel®Plume® (ラコベルプリュム) **Plume®Mirror** (プリュムミラー)

**Glascene**® **White** (グラシーンホワイト)

#### 施工の前に

この度は、AGC《プリュムシリーズ》(ラコベルプリュム・プリュムミラー・グラシーンホワイト)をご採用いただきましてありがとうございます。この製品を正しく安全に施工していただくため、施工前には、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

#### 安全に施工いただくために

この施工要領書に示した注意事項は安全に関する重要な内容です。 人身事故や財産の損害を未然に防止するため、次のような絵表示を しています。内容をよく理解して本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げる 物です。「必ず行っていただく事」を示しています。



Indov.

この記号は、「禁止行動 |を示しています。

. 1
- 2
- 4
- 5
6
. 7
8
1 C
1 C
12
12
13
14
15
16
17
18
18
20
21
22
23
23
24
24
25
26
_ ·
- <i>-</i> 28
<u> </u>

## / 注意

- ●本製品はガラス製品につき取り扱いの際は十分で注意ください。
- ●本製品は屋内専用です。屋外使用はできません。屋内使用でも直射日光が長時間当る場所への使用は避けてください。
- ●一般カラーガラス、一般ミラー (ラコベルなど) やミラーの施工 方法では、強度不足になるため施工できません。必ず《プリュム シリーズ》の施工要領書 (以下、本施工要領書と言う) に従って施 工してください。
- ●浴室などの温度の高い場所、結露しやすい場所での使用は避けてください。
- ●ストーブなどでガラスが加熱される場合「熱割れ」、「加工材料の劣化」の原因になりますので、極端に加熱される場所への使用はできません。
- ●ビス、釘などによる施工はできません。カケ、クラックの原因となります。
- ●突き付け施工はできません。必ず目地材またはシーリング材(すき間0.5mm以上)を使用してください。
- ●曲げ加工はできません。
- ●以下に該当する低温環境下では施工しないでください。
  - ①両面テープでの貼り付けの場合……10℃以下
  - ②接着剤での貼り付けの場合………5℃以下
- ●清掃する際は、傷が付かないように、きれいな水やぬるま湯を浸した、きれいな柔らかい布やスポンジなどで軽く拭いてください。 スポンジの堅い部分の使用や強く擦ることは避けてください。 仕上げに、きれいな布でから拭きをしてください。
- ●洗剤を用いる場合は、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤を用い、仕上 げ段階で良く拭き取ってください。

溶剤(シンナーなど)などの薬品はお使いにならないでください。

## ●お願い

- ●建築基準法、消防法に基づく市町村の火災予防条例などの法令・法規に 従って施工してください。
- ●接着剤、両面テープは弊社指定・推奨品(P3参照)のものを使用してくだ さい。
- ●周囲の壁や床を傷つけないよう保護マットなどで養生してください。
- ●衝撃を与えたり、負担のかかる持ち方をすると割れるおそれがあります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ●施工する前に、輸送時にガラスに破損・傷がないか、確認をお願いします。 その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
- ●製品の施工については必ず本施工要領書に従ってください。

# 仕様 / 部材·部品一覧表

#### 製品仕様

製品名	<b>Lacobel</b> ® <b>Plume</b> ® (ラコベルプリュム)				
仕様	カラーガラス(16色)	ミラーガラス の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	スクリーンフィルム付き 表面加工ガラス の の の の の		
	5mm (ガラス 2mm + 樹脂 3mm)	6mm(ガラス 3mm + 樹脂 3mm)	6mm (ガラス 3mm + 樹脂 3mm)		
重量	約 5.0kg/m²(弊社実測値)	約 7.2kg/m²(弊社実測值)	約 7.5kg/m²(弊社実測值)		
規格	2,410 × 900mm 1,800 × 900mm 600 × 900mm	2,410 × 900mm 1,800 × 900mm 600 × 900mm	2,400 × 1,200mm 2,000 × 1,200mm 1,500 × 1,000mm 1,500 × 600mm		
特徴機能	16 色カラー ガラス飛散防止性 不燃材料(認定番号取得済) 現場切断加工可能 ホワイトボードマーカーで書き消し可能	鏡 ガラス飛散防止性 不燃材料(認定番号取得済) 現場切断加工可能 ホワイトボードマーカーで書き消し可能	ホワイトボード・スクリーン ガラス飛散防止性 不燃材料(認定番号取得済) 現場切断加工可能 ホワイトボードマーカーで書き消し可能		

<sup>※</sup>プリュムシリーズ厚さ5mmと6mmを同一面に使用する際、面合わせする場合P13のレイアウト図を参考にしてください。

#### 専用部材

	ラコベルプリュム専用部材※1	《プリュムシリーズ》共通部材			
用途	目地	目地・見切り・入隅	見切り(カバー材)※2	出隅	
姿図		*3	*3 カバー LPE004	*3	
品番	LPE001*1	LPE002	LPE003·004	LPE005	
規格寸法	L=2410mm	L=2410mm	L=2410mm	L=2410mm	
カラー (樹脂部)	ホワイト・ブラック・ グレー・ブラウン・ベージュ	グレー(樹脂部分は露出しません)			

- ※樹脂製( 部はアルミ)
- ※1: LPE001はラコベルプリュム専用部材ですが、フィンをカットすることで共通部材として使用できます。
- ※2: LPE003とLPE004はセット販売となります。
- ※3:アルミ部の保護テープ(グレー色)は施工の際にはがして使用してください。

#### 必要な工具【準備するもの】

	ガラスカッター (2mmガラス切断)	ガラス切断用定規	カッター (樹脂カット用)	面取用砥石	はさみ (部材カット用)	手袋・保護めがね	接着剤
推奨品	日研ダイヤ NC-XO3	すべり止め、傷防止 ゴムの付いたガラス 用定規	特専M型ロング 中型(OLFA) 超極薄中ロング刃 O.2mm厚 品番201B	<ul><li>・PVAジスクオフセット型砥石 ※粒度320(アイオン)</li><li>・フレキシブルダイヤモンド ハンドラップ (3M)</li></ul>	万能電工はさみ PRO FM06-210 (FUJIYA)	すべり止め付手袋	LPE005 で使用の場合 スーパーXゴールド (セメダイン)

<sup>※</sup>面取用砥石は、推奨品より粒度が粗いものを使用した場合、ガラス強度が低下することがあります。

#### 別売り施工部材(推奨品)

#### ■施工用接着剤

工法	樹脂パネル接着工法(TM 工法)	直貼り接着工法			
特徴	・1mm厚の両面テープで仮固定、変成シリコーン系接着剤で本接着する。 ・3mmの樹脂と1mmの両面テープによる空間により、下地壁面の不陸吸収性がUP。	・平坦な下地にほとんど隙間なく直貼りする。 ※下地の不陸がある場合は、樹脂パネル接着工法を適用ください。			
	接着剤と両面テープの併用	接着剤と両面テープの併用 両面テープのみの場合			
施工法	ででは、シリコーン系接着剤 (プリュムシリーズ) ガラスパネル	ででは、カース では、カース			
推奨 仮固定 両面 テープ	<ul> <li>ボンド TM テープ W1-20 (20mm幅、t=1mm、コニシ)</li> <li>・両面テープ CKBZ04 (20mm幅、t=1mm、パナソニック)</li> <li>・専用仮止めテープ ZK-31 (20mm幅、t=1mm、アイカ工業)</li> </ul>	・EW-514 (25mm幅、t=0.14mm、日東電工) ・DCX-1018 (25mm幅、t=0.13mm、3M ジャパン)			
推奨 接着剤					

#### ■目地用シーリング材

目地弾性シーリング材

#### 1液/シリコーン系シーリング材

・ボンドシリコンコーク 330ml(コニシ) 13 色 アイボリー、アルミ、アンバー、クリヤー、グレー、ステンカラー、ダークアイボリー、ダークアルミ、ダークブラウン、ニューブルー、ブラック、ホワイト、ライトグレー

#### 1 液 / シリコーン系シーリング材

・セメダイン 8060 プロシリコーンシーラント(セメダイン)8 色 クリア、ホワイト、ブラック、グレー、アイボリー、アルミ、ダークブラウン、アンバー

#### 1液/変成シリコーン系接着剤

- ·POS シールマルチ、POS シールマルチスピード、POS シール(セメダイン)
- ・ボンド MPX-1 (コニシ)
- ・キッチンボード用接着剤 CKBZO3 (パナソニック)
- ・エコエコボンド不燃化粧材用接着剤 SE-1 (アイカ工業)

※ホワイトボード用途としては不適。目地部に付着したマーカーが残る場合があります。

# 施工上の要点 / 注意事項

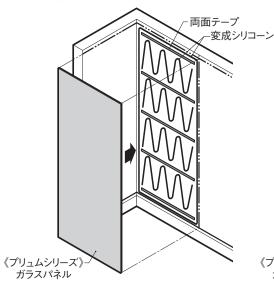
## 施工について

## ■推奨施工法…下地の状態により、工法を選択してください。

#### 樹脂パネル接着工法(TM 工法)

●3mmの樹脂と1mmの両面テープによる空間によ り、直貼り接着工法に比べ、下地壁面の不陸吸収 性がUPします。

#### 接着剤と両面テープの併用

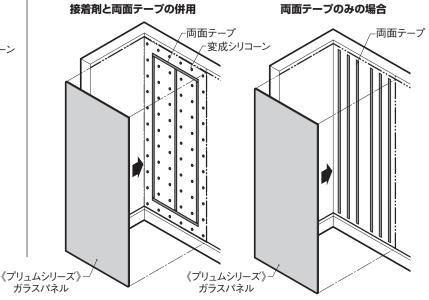


▲ 貼り付けは推奨の両面テープ・接着剤

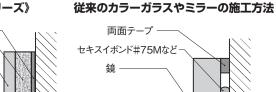
○ 従来のカラーガラスやミラーの施工方

#### 直貼り接着工法

●平坦な下地にほとんど隙間なく直貼りする工法です。 下地の不陸がある場合は、樹脂パネル接着工法を適用ください。



《プリュムシリーズ》



すき間がある

下地用両面テープ / 下地用接着剤-(P3) を使用してください。 樹脂 ラコベルプリュムー カラーガラス

法では施工できません。

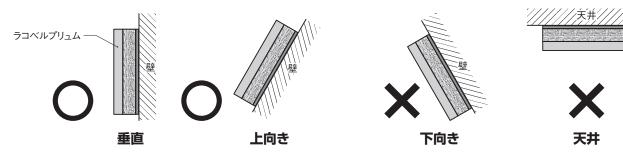


お願い

両面テープ施工の場合は壁とすき間 なく貼ってください。



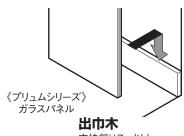
## ■ラコベルプリュムは垂直、または上向き壁面に施工してください。



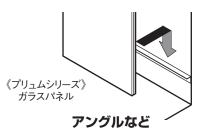
▶ お願い 必ず下辺を支持してください。※支持部は 7mm以上の出巾木、アングルなど

《プリュムシリーズ》ガラスパネルと下地壁面との 接着力を長期間保持させるために、パネルの下辺 には出巾木やアングルなどを設置し、下辺を支持 するように貼り付けてください。下辺のガラスエッ ジ部分を保護する目的もあります。

なお、出巾木やアングルは平坦なものを使用して ください。



支持部は7mm以上



支持部は7mm以上 アングル厚みは1mm以下を推奨

## 下地の確認

**■施工可能な下地** 石膏ボード・ケイ酸カルシウム板 (表面加工あり)・金属板

■施工に適さない下地 湿気を帯びた下地、ALC躯体・RC壁面

モルタル面、ケイ酸カルシウム板 (表面加工なし)、合板、塗装面・壁紙・クロス面・化粧面

○ 施工に適さない下地をご使用の場合は石膏ボードなどを貼ってください。

▲ 下記の注意事項に従って安全に使用してください。

#### ご注意

- •下地材の選定と壁面構造の作製は建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合するように行ってください。
- 適切な間柱間隔に固定された、またはコンクリート壁面などに固定された、丈夫で平 坦な下地壁面に使用してください。押すことで湾曲するような下地壁面にはで使用いただけません。
- 石膏ボードやケイ酸カルシウム板 (表面加工あり)、金属板など、推奨接着剤に適合する下地壁面に固定することができます。

(適合する下地壁面の材質は、各接着剤メーカーのカタログ、HP などでご確認ください)

- •下地壁面の表面は、推奨接着剤の使用注意事項に従い、離型材や油分・汚れ・錆び などを除去し、濡れている表面や高い含水率の木材などへの接着は避けてください。
- 内装制限を受ける部位にご使用の場合は、不燃下地材(石膏ボード (t=12mm以上推奨) やケイ酸カルシウム板 (t=5mm以上推奨) など) の上に接着してください。
- •下地が平坦ではない場合は、石膏ボードなどを捨て貼りして、その表面に接着してください。
- 壁紙がある場合は、経年劣化による壁紙自体の接着はがれなどの影響を受ける場合があるので、壁紙をはがしてください。
- •下地壁面がモルタル面、ケイ酸カルシウム板 (表面加工なし)、合板などの場合、予め表面にプライマーを塗る必要があります。

各接着剤に適合するプライマー品種と下地の組み合わせをご確認ください。 (各接着剤メーカーのカタログ、HPなどでご確認ください)。

## 割り付け計画専用部材(見切り材・目地材)使用の場合

●割り付けは、P10の加工基準を遵守の上、ご計画ください。

#### 割り付け時の注意

- ●下地材の目地と《プリュムシリーズ》ガラスパネルの目地 が重ならないように割り付けてください。
- ●突き付け施工はできません。
  専用部材使用する場合、下図の専用部材寸法を参照してください。
- ●出巾木(7mm以上)の上、またはそれに相当する支持部品の上に施工してください。

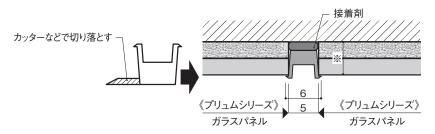


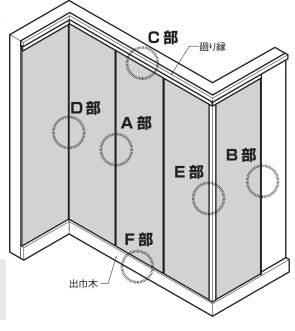
※寸法(製品の厚さ)

5mm…ラコベルプリュム

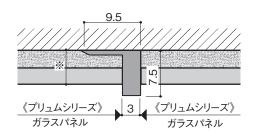
6mm…プリュムミラー・グラシーンホワイト

- ●目地材 LPE001 (ラコベルプリュム・プリュムミラー・グラシーンホワイト)
- ・フィンを切り落とし、接着剤にて貼り付けて使用してください。(下図参照)

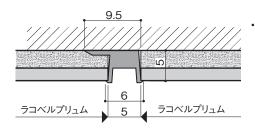




●目地材 LPE002



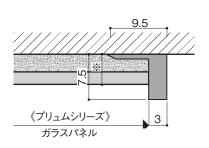
●目地材 LPEOO1 (ラコベルプリュム直貼りの場合のみ使用できます)



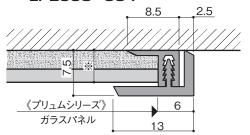
・サイズが200mm以下の場合はフィン を切り落とし、接着剤にて貼り付けて使 用してください。(上図参照)

#### B部(見切り)

●見切り材 LPE002

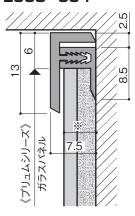


●見切り(カバー材) LPE003・004



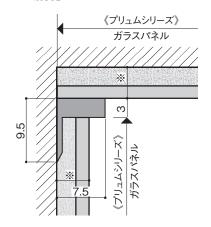
C部(見切り)

●見切り(カバー材) LPE003・004



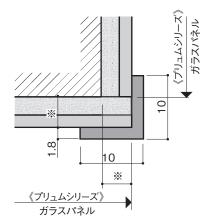
## D部(入隅)

#### ●入隅材 LPE002



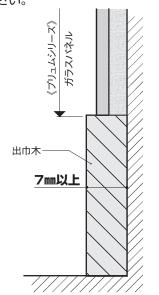
#### E部 (出隅)

#### ●出隅材 LPE005

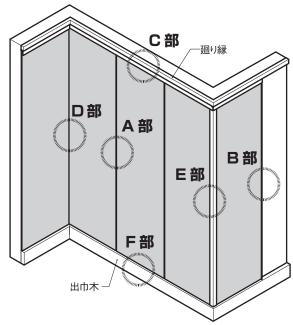


#### F部(出巾木)

●厚さ 7mm以上の出巾木を使用して ください。



#### 割り付け計画 目地をシーリング仕様とする場合



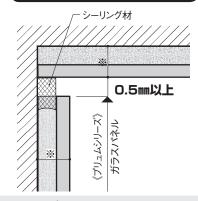
## / 割り付け時の注意

●施工時のガラス同士の接触による破損を防止 するために、突き付け目地間隔は**0.5mm以上**と してください。

#### A 部 目地部のシーリング

## 《プリュムシリーズ》 《プリュムシリーズ》 ガラスパネル **O.5mm以上** ガラスパネル シーリング材

#### 口部 入隅部のシーリング



※寸法(製品の厚さ)

5mm…ラコベルプリュム 6mm…プリュムミラー・グラシーンホワイト

#### B部(見切り)

C部(見切り)

E部(出隅)

F部(出巾木)

「専用部材(見切り材・目地材)使用の場合」を 参照してください。

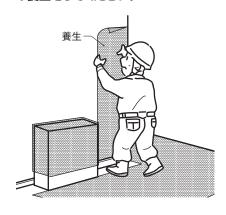
## 持ち運び/保管に関する注意事項

注意

- ●本製品はガラス製品につき取り扱いの際は十分ご注意ください。
- ●運搬・作業時にはすべり止めの手袋を着用するとともに、保護メガネを着用してください。

#### ■周辺部は養生してください

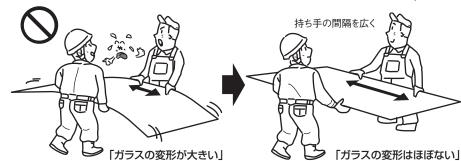
●作業現場の周辺部や家具などには、傷つけたり、ガラスの破損を避けるための養生をしてください。



#### ■平持ちはできるだけ避けてください。

- 《プリュムシリーズ》 ガラスパネルが 弓形に大きく変形すると破損する可能 性があります。
- ●長手方向に向かって持つと弓形に変形 しやすく破損原因となります。
- ●作業は2名で実施し、持ち手の間隔 を広げて、ガラスパネルが変形しない ように持ってください。

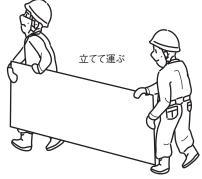




#### ■立てて持ち運んでください

- ●持ち運ぶ際にはラコベルプリュムがた わまないように、立てて持ち運んでく ださい。
- ●大サイズの場合は2人作業で立てて 持ち運んでください。





#### ■ガラスの角やエッジをぶつけないようにご注意ください

- 《プリュムシリーズ》 ガラスパネルの端部やコーナーをぶつけるとガラスが破損する場合があります。
- ●ガラスを長手方向に起こす場合は天井などにぶつけないよう、運ぶ際は床や壁など にぶつけないようにご注意ください。



#### ■緩衝材を敷いてください

●搬送中に休憩する場合は、平坦な段ボールなどの緩衝材の上にガラスパネルをゆっくりと置いてください。

ガラスの角を立てたり、石床のような 硬い床面に直接設置することは避けてください。

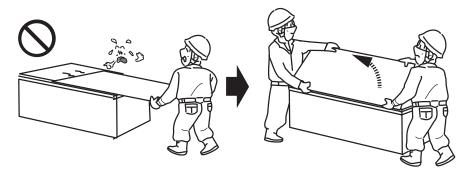




#### ■持ち上げ時のご注意

- ●ラコベルプリュムの一部を支点にして持ち上げないでください。
- ●引きずらないでください。





#### ■ 1500mm以上の場合は補助材を

●サイズ 1500mm以上の場合はたわみ 防止のため、補助材を取り付けて持ち 運びしてください。

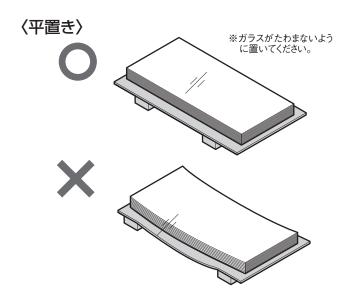
補助材 (P10 参照)

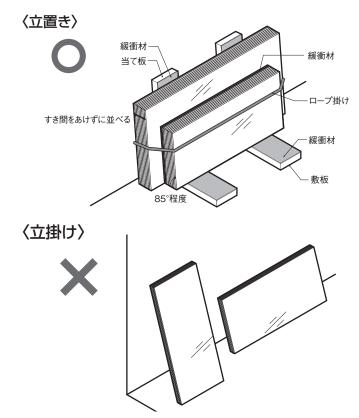


## 保管に関する注意

#### ■立置き、平置きとします。

●在庫保管は、直射日光や雨のあたる場所を避け、できるだけ乾燥した場所を選んで、破損・汚れのないように注意して保管してください。





#### 運搬・取り付け時のたわみ防止補助材の製作

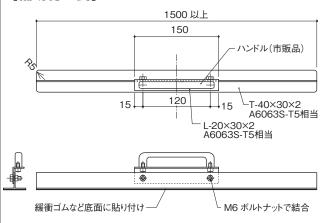


《プリュムシリーズ》ガラスパネルは軽量化されて 【 プリュムシリーズ》ガラスパネルは軽量化されて おり、ガラス表面にT字アルミアングルやスチレン ボードなどの剛性がある部材を固定することで簡 単にハンドリング時に生じるガラスの変形を抑制 することができます。

#### 【補助材の製作】

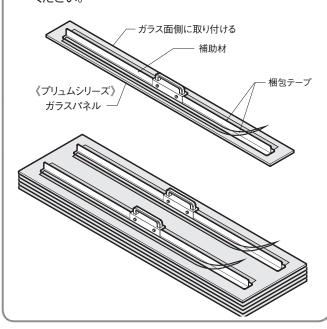
- ●サイズ1500mm以上の場合は、たわみ防止のため、補 助材を《プリュムシリーズ》ガラスパネルの両端部に取 り付けて施工してください。
- ※サイズ2410mmの場合は、1800~2000mm程度が 目安となります。

#### 【補助材の例】



#### 【補助材の貼り付け】

- ●《プリュムシリーズ》ガラスパネルの表面に補助材を セットし、両側を梱包テープで貼り付けます。
- ※製作した補助材の接着力などは、予め確認してから使 用してください。
- ※補助材を外す時に、ガラス面を傷つけないよう、ご注意 ください。



## 切断加工

- ●《プリュムシリーズ》ガラスパネルは切断加工することができ ます。
- ※穴あけや切り欠きなどの加工はできません。 加工にあたっては下記「加工基準」を参照ください。

**/!**\注意

●作業に当たっては、 必ず手袋、保護メガ ネを着用してくださ



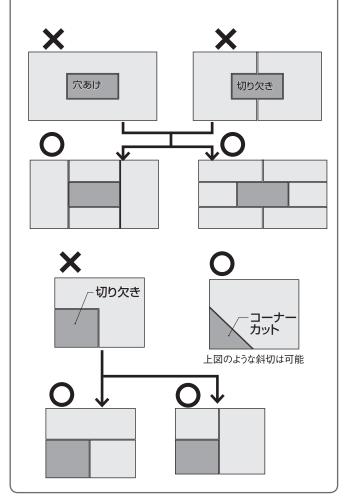
●加工した角部で切創する可能性があるた め、必ず面取用砥石 (P2参照) などでカッ ト断面の角部を面取りしてください。

## 加工基準

現場での穴あけや切り欠きなどの加工は できません。

当社の出荷形状は矩形のみとなります。

◇《プリュムシリーズ》の穴あけや切り欠きなどの 加工は、クラックの発生や強度の低下を招きます ので、避けてください。



#### 加工手順

#### ①ガラスに切り線を入れる

切断位置に定規を合わ せ、ガラスカッターで切り 線を入れます。

- ※切り線は最初から最後まで きっちり入れてください。
- ※すべり止め付定規だと作業 がしやすくなります。

#### ②ガラスの切断

切り線を開くように、山 折りに曲げて、ガラスを 折ります。

#### ③樹脂層の切断

樹脂層を軽く折り曲げた状態 で、残った樹脂部分にカッターを 入れて樹脂層を切り離します。

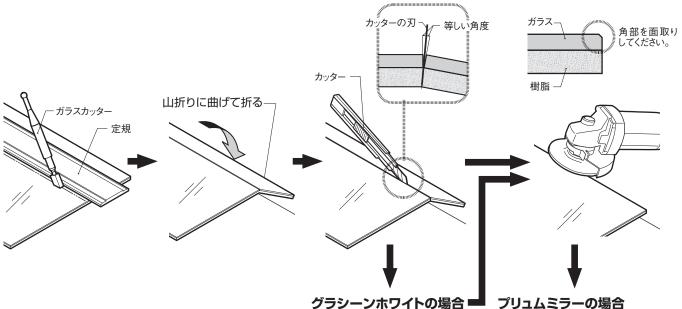
- ※切断面が等しい角度となるよう、 カッターの刃は斜めに当てて切断し てください。
- ※カッターの刃に接着剤が付いた場合 は、エタノールなどで拭い取ってく ださい。

#### ④切断面の処理

カットした角部で手を切る可能 性があるため、面取用砥石で角 部を面取りしてください。

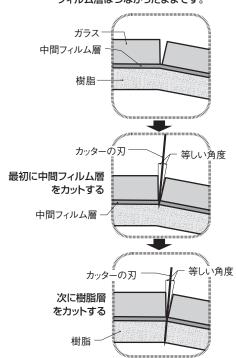
※切断面は必ず面取りを実施してくだ さい。

(製品状態の《プリュムシリーズ》は 面取り済みです)



#### グラシーンホワイトの場合

内部にフィルム層が挿入されて いるため、ガラスを折っても中間の フィルム層はつながったままです。



#### 切断後のエッジ処理(鏡面層の保護)

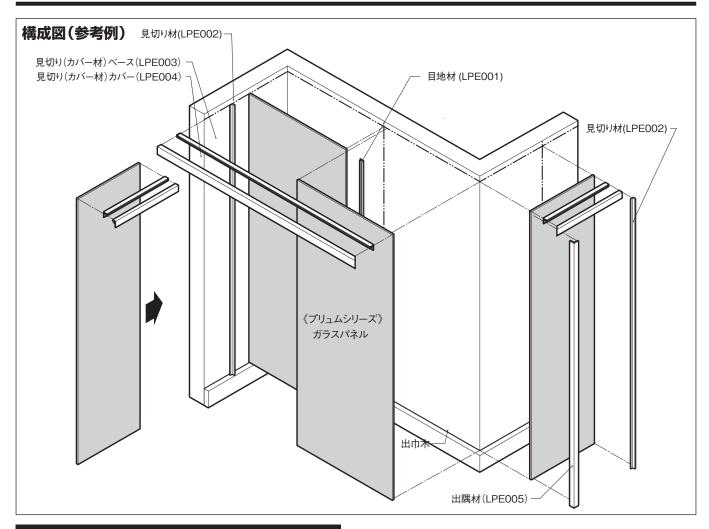
プリュムミラーの切断辺は、鏡面 の劣化を防ぐために必ずミラー シール(鏡用防錆簡易ふち塗り 剤) によるエッジ処理を実施して ください。

#### ミラーシールの使い方

よく振ってから塗布してください。 ペン芯を数回ノックして、液を先端 に染み渡らせてから使用ください。 プリュムミラーのエッジに先端を当 て、防錆液を塗ります。 3~5分で乾燥します。

プリュムミラー ミラーシール: 鏡用防錆簡易ふち塗り剤(別売)

# 施工前の確認と準備



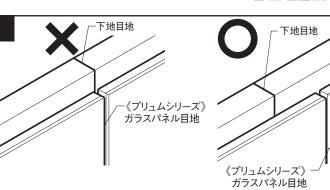
## 1. 事前の確認

確認事項	対応万法	
	―― 石膏ボードなど施工可能な下地材(P5)に施工してください。	
壁面は水平・垂直である     NO	補修が必要です。	
壁面に不陸はない NO	1mm以上の段差、5 mm 以上の不陸がある場合、補修が必要で	ごす。
<ul><li>下地に浮きはない NO</li></ul>	タッカーなどで補修します。	
□ 下地にゴミ、ほこり、汚れはない ········NO	下地のゴミ、ほこり、汚れが著しい場合接着不良の原因となりま中性洗剤などで汚れを除去し、乾いた状態にしてから施工を始	
── 下辺は巾木などで支持される············NO	必ず下辺を支持してください。 ※支持部は7㎜以上の出巾木、アングルなど	
当施工要領書を確認したNO	施工前には、この要領書をよくお読みの上、 正しく作業を行ってください。	
施工手順動画を確認したNO	https://www.asahiglassplaza.net/カラーガラス特設サイト /ブランドラインナップ/ラコベルプリュムの動画を確認してください。	

## 2. 墨出し《プリュムシリーズ》割り付け墨

●基本墨(陸墨・通り芯など)を確認し、基本墨を基準に、施工図面より取付墨を出し、施工箇所の下地に《プリュムシリーズ》ガラスパネルの割り付けを行ってください。

▲ 割り付けの際、下地の目地と《プリュムシリーズ》ガラスパネルの目地が重ならないようにしてください。



## 3. 《プリュムシリーズ》 ガラスパネルの取り付け準備



#### ガラスパネルの 貼り付け手順を決める

「ガラスパネル貼り付け→目地材取り付け」を繰り返して取り付けます。

ガラスパネルは接着後の調整はできませんので、スタートのガラスパネルを決め、順番に貼っていきます。

 $\triangle$ 

接着後に位置の調整はできません。位置

注意 の確認をしてから貼り付けてください。

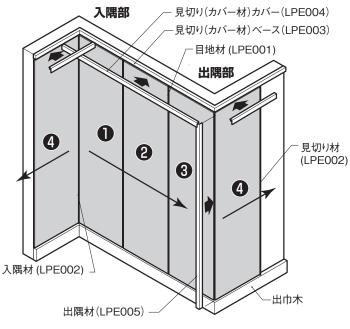
#### / 注意

- ●本製品はガラス製品につき 取り扱いの際は十分ご注意く ださい。
- ●作業に当たっては、必ず手 袋、保護メガ ネを着用して ください。

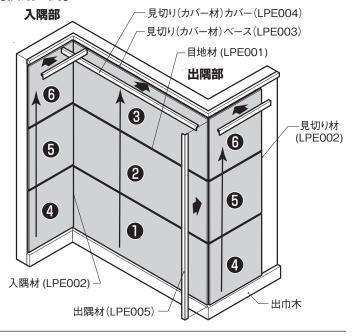
●サイズの大きいガ ラスパネルの運搬 ・取り付け作業は2 人で行ってくださ い。



#### 【縦貼り例】



#### 【横貼り例】

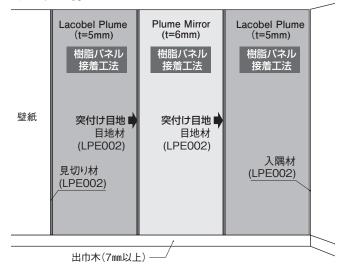


#### ラコベルプリュム(t=5mm)と プリュムミラー(t=6mm)の目地材入れ施工

#### 同一接着工法を用いる場合

プリュムミラーとラコベルプリュムの突付け部に目地材 LPE002 を挿入いただければプリュムミラーとラコベルブリュムの段差は目立たず、フラット壁面とミラー部分の間に少しアクセントを与えた仕上がりになります。

#### レイアウトの一例

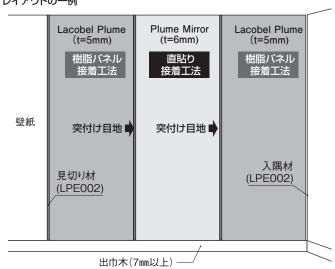


#### ラコベルプリュム(t=5mm)と プリュムミラー(t=6mm)の面合わせ

#### ラコベルプリュムは樹脂バネル接着工法 プリュムミラーは直貼り接着工法

で施工いただければラコベルプリュムとブリュムミラーの 面合わせが可能です。

#### レイアウトの一例



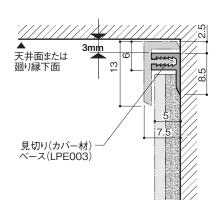
# 施工手順

#### 施工の流れ ※本手順は、参考例に従って標準的な手順を示しています。

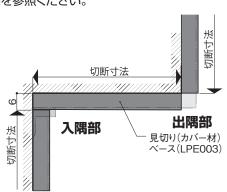
1.見切り(カバー材)ベース(LPE003)の貼り付け
2.接着剤の塗布
3.《プリュムシリーズ》ガラスパネルのセット ····································
4.目地材の取り付け A.目地材(LPE001)樹脂パネル接着工法(TM工法)/プリュムシリーズ共通・・・・ 18 日地材の取り付け B.目地材(LPE001)直貼り接着工法/ラコベルプリュム施工の場合・・・・・・ 20 D.シーリング目地の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
5.入隅の取り付け — 見切り材(LPE002) ···································
<b>6.出隅の取り付け</b> 出隅材(LPE005) ···································
<b>7.見切り(カバー材)カバー</b> (LPE004) <b>の取り付け</b> ····································
<b>8.見切り材</b> (LPE002) <b>の取り付け</b> ····································
9.施工後の確認

## 1.見切り(カバー材)ベース(LPEOO3)の貼り付け

●天井面または廻り縁下に見切り(カバー材)を使用する場合、ラコベルプリュム取り付け後では施工できません。
予めベース材を両面テープで貼り付けておきます。

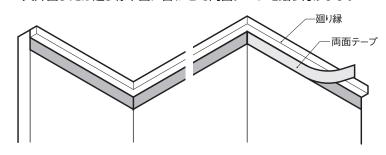


※見切り(カバー材)ベースの切断寸法は下 図を参照ください。



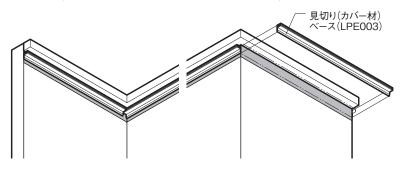
#### ①両面テープの貼り付け

天井面または廻り縁下面に合わせて両面テープを貼り付けます。



#### ②見切り(カバー材)ベースの貼り付け

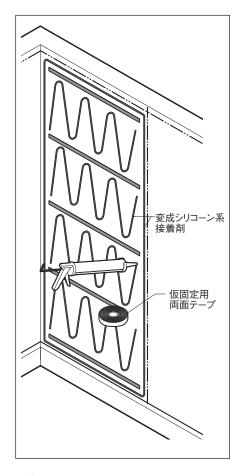
天井面または廻り縁下面から3mm空けて見切り(カバー材)ベースを貼り付けます。(厚さ3mmのスペーサーなどを利用します。)



## 2. 接着剤塗布 A. 樹脂パネル接着工法(TM 工法)

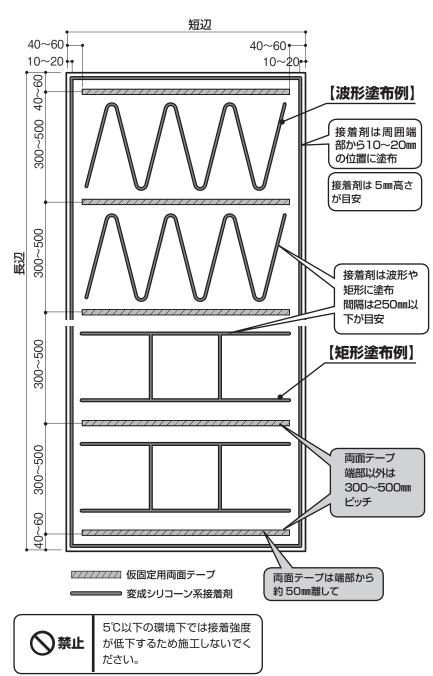
#### 【接着剤と両面テープの併用】

3mmの樹脂と 1mmの両面テープによる空間により、下地壁 面の不陸を吸収します。



- ●【両面テープ貼り付け/接着剤塗布パ ターン例】を参考にして、1mm厚の仮固 定用両面テープを貼り、変成シリコーン 系接着剤を塗布します。
- ※両面テープと接着剤は、P3に記載のも のを使用してください。
- ●接着剤塗布量は、2410×900mm1枚 に対して約333mlです。
- ●両面テープおよび接着剤は、下地壁面 側に貼る/塗布する方が、作業性がよく なります。
- ※《プリュムシリーズ》ガラスパネルの樹 脂面側に貼る/塗布してもかまいませ  $h_{\circ}$
- ●両面テープの方向性は縦方向でも横方 向でも、どちらでも問題ありません。
- ●ガラスパネル位置周囲は必ず接着剤を 塗布してください。

#### 【両面テープ貼り付け/接着剤塗布パターン例】



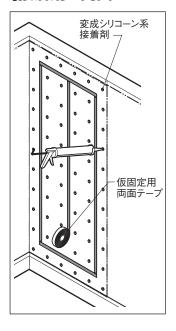
#### ⚠接着剤塗布の注意点

- ●塗布量が少ない場合、はがれなどの原因となります。
- ●接着剤塗布後10分以内に貼り付け圧着してください。
- ●5℃以下の環境下では施工しないでください。

## 2. 接着剤塗布

## B. 直貼り接着工法 (下地壁面がフラットな場合)

#### 【接着剤と両面テープの併用】

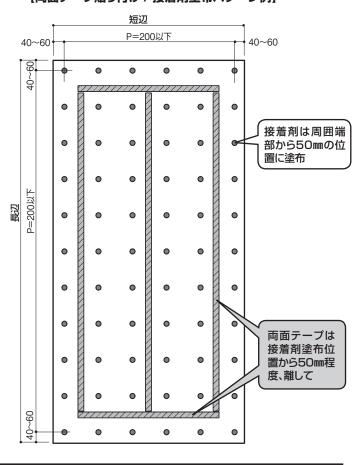


- ●推奨接着剤を下地材または 《プリュムシリーズ》ガラスパ ネル裏面(樹脂面)に右図のよ うに塗布してください。
- ※下地壁面に接着剤を塗布する 方が、ガラスの取り回し回数 が少なるため、作業性が向上 します。
- ●併用する推奨両面テープは、接着剤が重ならないよう、接着剤塗布位置から50mm程度離してください。
- ●接着剤は圧着時に両面テープの厚み程度に広がるよう、 1カ所あたり0.4g程度を目安に塗布してください。

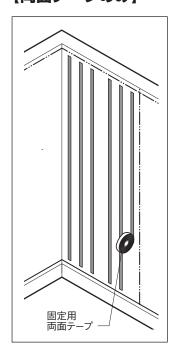
#### ⚠接着剤塗布の注意点

- ●塗布量が少ない場合、はがれなどの原因となります。
- ●接着剤塗布後10分以内に貼り付け圧着してください。
- ●5℃以下の環境下では施工しないでください。
- ●接着剤の養生期間中は梱包テープなどで仮押さえしてくたざい。

#### 【両面テープ貼り付け/接着剤塗布パターン例】

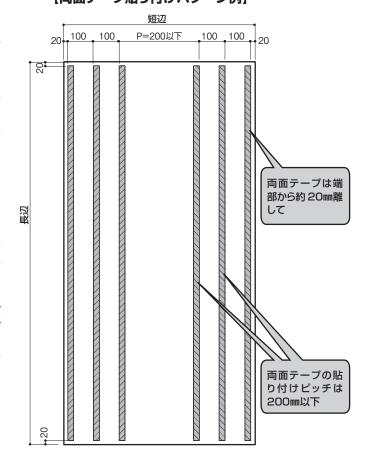


#### 【両面テープのみ】

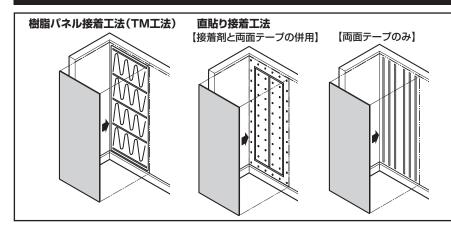


- ●推奨テープを下地材または 《プリュムシリーズ》ガラスパ ネル裏面(樹脂面)に右図のよ うに貼り付けてください。
  - 端部から20m開け、25m幅の両面テープを100mピッチで両端部から中央に追って貼り付けます。
  - ピッチ調整が必要な場合は中央部で200mm以下の範囲に して調整してください。
- ※下地に貼り付ける方が、ガラスパネルの取り回し回数が少なくなるため、作業性が向上します。
- ●接着を確実なものにするため、圧着作業は十分に実施してください。
- ●10℃以下の環境下では施工 しないでください。

#### 【両面テープ貼り付けパターン例】



## 3. 《プリュムシリーズ》 ガラスパネルのセット



<u>^</u>注意

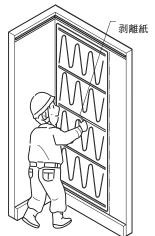
接着後に位置の調整は できません。位置の確認 をしてから貼り付けてく ださい。

※説明図は樹脂パネル接着工法(TM 工法)縦貼りですが、横貼りも同様の 要領で施工します。

①施工位置確認のため、両面テープをは がす前に《プリュムシリーズ》ガラスパ ネルを仮当てし、位置と寸法を確認し ②両面テープの剥離紙をはがします。







#### 《プリュムシリーズ》ガラスパネルに貼った場合 (直貼り接着工法/両面テープのみの場合)

※ラコベルプリュムを立てて、両面テープ の剥離紙をはがします。



- ③墨出しした貼り付け位置に、ガラスパネルをセットします。
- ④出巾木やアングルなどに《プリュムシリーズ》ガラスパネル の下辺を合わせます。
- ⑤貼り付け位置を調整し、ゆっくりと下地面に貼り付けます。
- ※中央部に浮きが発生しないように、端部から一定方向を決めて貼り付けます。
- ※端部からランダムに押さえると、浮きや歪みのでるおそれが

あります。



- ⑥貼り付けが完了したら、布などでガラス表面を拭くように、しっかりとガラスを壁面に圧着してください。(ガラス表面の隅々まで拭くようにしてください。)
- ※ガラス面を傷つけないようにご注意ください。
- ※圧着の際に図のように一定方向を決めて貼り付けると、歪みが 少なくきれいに貼ることが出来ます。





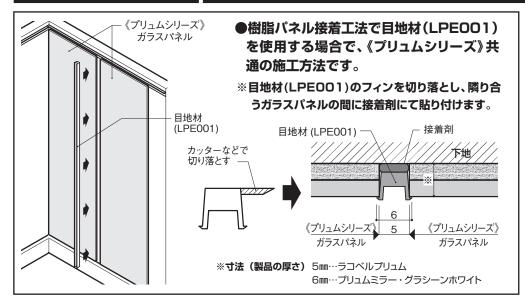






長期的な接着強度を維持するために、 圧着作業はガラスパネル全面に対し て必ず実施してください。

#### ▲. 目地材 (LPEOO1)/ 樹脂パネル接着工法 (TM 工法) / プリュムシリーズ共通

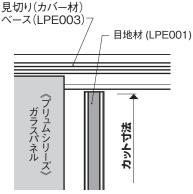


③隣り合うガラスパネルの貼り付け

●5~5.5mmのすき間を空けて隣り合うガラスパネル

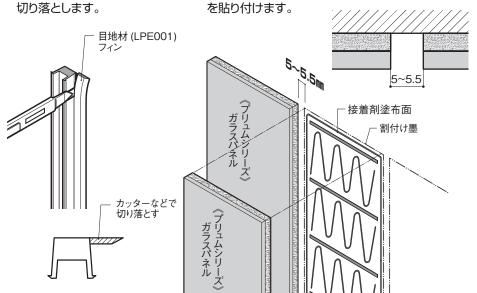
#### ①目地材(LPE001)のカット

●目地材は見切り(カバー材) ベース下端までを実測しカット します。



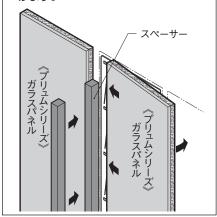
#### ②目地材フィンの切り落とし

●目地材(LPE001)のフィンを 切り落とします。



#### 【スペーサーの利用】

※目地幅に対応した5mm厚のスペーサーを準備し、1枚目のガラスパネル端部にテープなどで固定した後、突き合わせるガラスパネルを押し当てて貼り付けます。

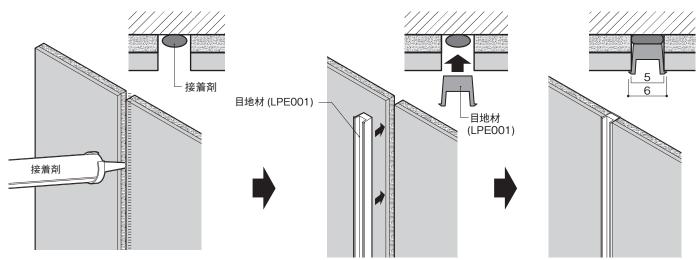


#### ④接着剤の塗布

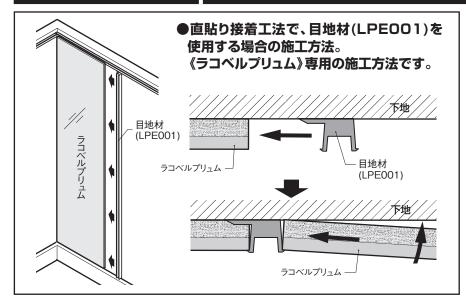
●すき間に接着剤を塗布します。

#### 5目地材(LPEOO1)の取り付け

●すき間に目地材を押し込み、接着します。

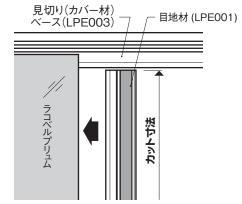


#### B. 目地材 (LPEOO1)/ 直貼り接着工法 / ラコベルプリュム施工の場合



#### ①目地材(LPE001)のカット

●目地材(LPE001)は見切り(カバー材) ベース下端までを実測しカットします。

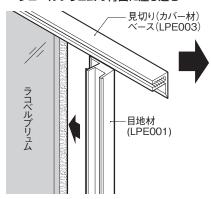


#### ②目地材(LPEOO1)の取り付け

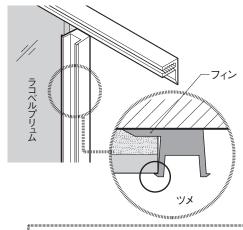
●ラコベルプリュムの側面に、目地材の フィンを押し込みます。

その際、目地材(LPE001)のツメ部が ラコベルプリュムのエッジに掛かるよう にし、ラコベルプリュムと目地材の間に すき間が生じないように密着させてく ださい。

#### 目地材(LPEOO1)のフィンを ラコベルプリュムの背面に差し込む



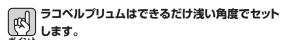
#### ラコベルプリュムに密着させる



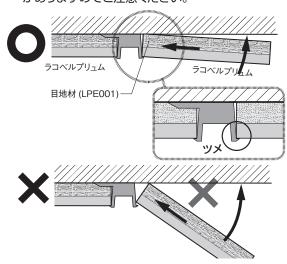
#### ③2枚目以降の貼り付け

●2枚目以降のラコベルプリュムも、目地材(LPE001)の間にすき間が生じないように密着させながら、1枚目と同様に貼り付けます。



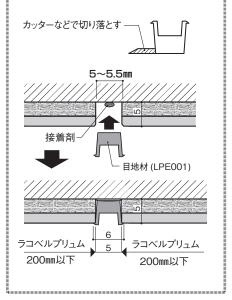


- ●ラコベルプリュムはできるだけ浅い角度で壁面に当て、目地材(LPEOO1)のツメに掛かるように押し込んでから壁面に接着するときれいに施工できます。
- ↑ 深い角度で押し込みますと、目地材(LPE001)とラコベルプリュムの間にすき間が生じたり、傾くおそれがありますのでご注意ください。

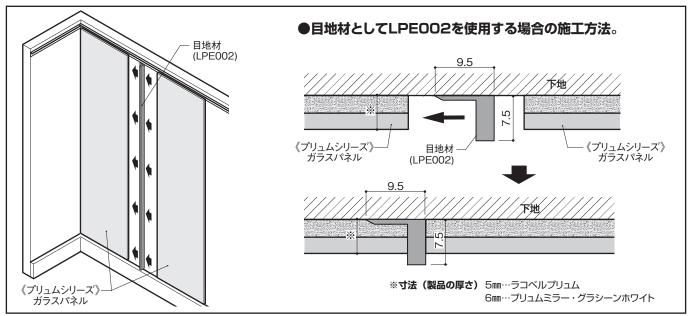


#### <u>ラコベルプリュムのサイズが200mm</u> 以下の場合

※ラコベルプリュムのサイズが200m 以下の場合は目地材(LPEOO1)の フィンを切り落とし、接着剤にて貼り 付けてください。

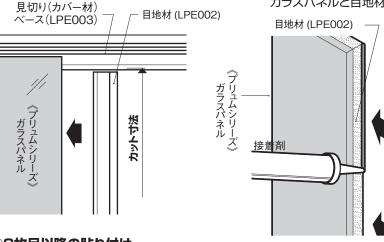


## C.目地材 (LPE002)



#### ①目地材(LPE002)のカット

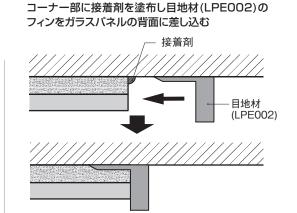
●目地材は見切り(カバー材)ベース下端までを実測し、実測寸法マイナス2mmにカットします。



## ②目地材(LPE002)の取り付け

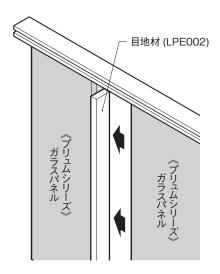
- ●下地面とガラスパネルのコーナー部に接着剤を塗布します。
- ●目地材の保護テープをはがし、ガラスパネルの側面に、目地材のフィンを押し 込みます。

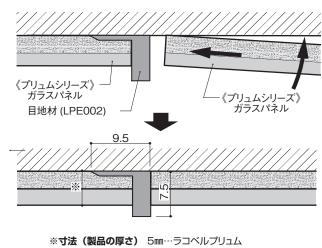
ガラスパネルと目地材の間にすき間が生じないように密着させてください。



#### ③2枚目以降の貼り付け

●2枚目以降のガラスパネルも、目地材(LPE002)の間にすき間が 生じないように密着させながら、1枚目と同様に貼り付けます。



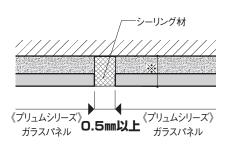


## D.シーリング目地の場合



## ⚠ 割り付け時の注意

- ●施工時のガラス同士の接触による 破損を防止するために、突き付け 目地間隔は0.5mm以上としてくだ さい。
- ●目地用弾性シーリング材はガラス 部分の小口が埋まる程度に塗布し てください。



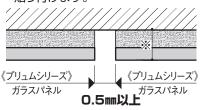
#### ※寸法(製品の厚さ)

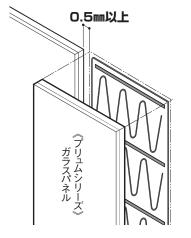
5mm…ラコベルプリュム 6mm…プリュムミラー・グラシーンホワイト

#### 目地部のシーリング

#### ①ガラスパネルの貼り付け

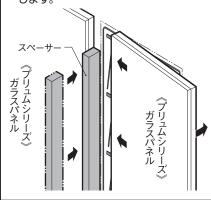
●必要な目地幅(0.5mm以上)のすき間を空けて隣り合うガラスパネルを貼り付けます。





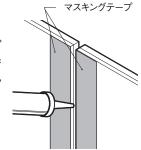
#### 【スペーサーの利用】

- ●目地幅に対応した厚さ(**0.5㎜以上**) のスペーサーを準備し、1枚目のガラ スパネル端部にテープなどで固定した 後、突き合わせるガラスパネルを押し 当てて貼り付けます。
- ●貼り付けたガラスを十分に圧着し、養生(2時間程度)した後、スペーサーを 外し、目地用弾性シーリング材を充填 します。



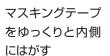
#### ②目地シーリング

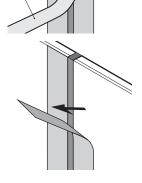
マスキングテープ を貼り付け、奥まで しっかりとシーリン グ材を注入する



へラなどを用いて、 余分なシーリング材 を掻き取る

ヘラ

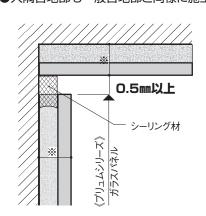


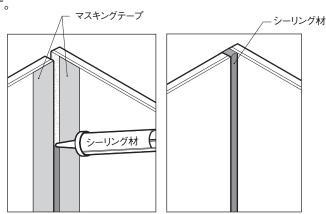


#### 入隅目地部のシーリング

※寸法(製品の厚さ)5mm・・ラコベルブリュム 6mm・・プリュムミラー・グラシーンホワイト

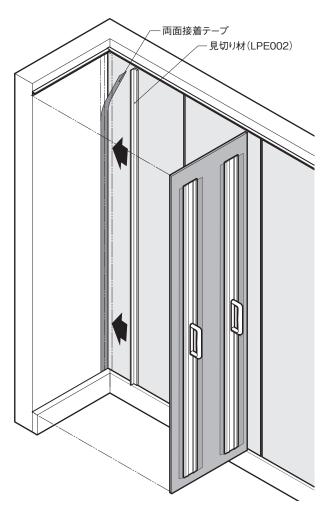
●入隅目地部も一般目地部と同様に施工します。





## 5. 入隅の取り付け 見切り材(LPE002)

●入隅には見切り材(LPE002)を使用します。

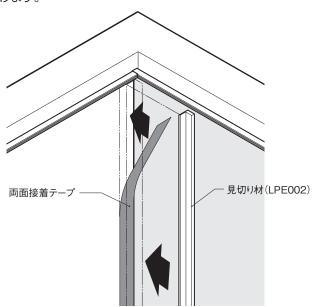


#### ②取り付け壁面に両面接着テープを貼る

入隅材取り付け壁面に両面接着テープを貼ります。

#### ③入隅材を貼り付ける

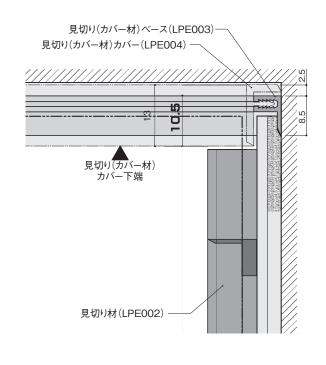
入隅材の保護テープをはがし、コーナー部に合わせて貼り付けます。



#### ①入隅材(見切り材(LPEOO2))のカット

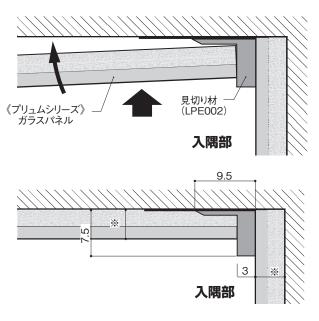
入隅材は見切り(カバー材)カバー(LPE004)下端でカットします。

見切り(カバー材)カバー(LPE004)下端までの寸法は 見切り(カバー材)ベース(LPE003)**上端から10.5mm下 がった位置**になります。



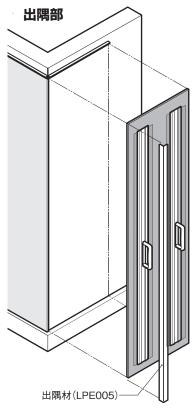
#### ④ 《プリュムシリーズ》 ガラスパネルの取り付け

入隅材のコーナーに合わせて、《プリュムシリーズ》ガラス パネルを取り付けます。



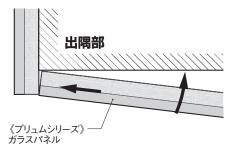
※寸法(製品の厚さ) 5mm・・・ラコベルブリュム 6mm・・プリュムミラー・グラシーンホワイト

## 6. 出隅の取り付け 出隅材(LPEOO5)



#### ①《プリュムシリーズ》ガラスパネルの取り付け

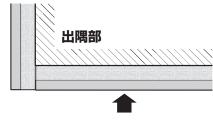
出隅コーナーに合わせて、《プリュムシリーズ》ガラスパネルを取り付けます。



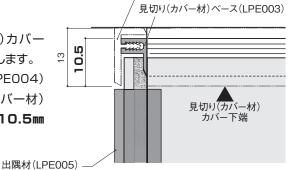
#### ②出隅材(LPE005)のカット

出隅材は見切り(カバー材)カバー(LPE004)下端まででカットします。 見切り(カバー材)カバー(LPE004) 下端までの寸法は見切り(カバー材) ベース(LPE003)上端から10.5mm

下がった位置になります。

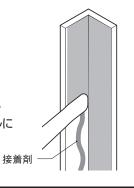


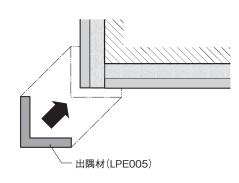
見切り(カバー材)カバー(LPE004)



③出隅材(LPE005)の貼り付け

- ・出隅材の内側に接着剤(P2参照)を塗布してください。 ※接着剤は、はみ出ないよう、ヘラなどで均一にしてください。
- ・出隅コーナーにセットして《プリュムシリーズ》ガラスパネルに 圧着します。
- ・接着確認後保護テープをはがしてください。



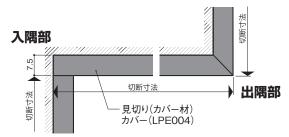


## フ.見切り(カバー材)カバー(LPEOO4)の取り付け

# 見切り(カバー材)カバー (LPE004)

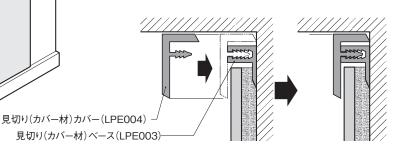
#### ①見切り(カバー材)カバーのカット

※見切り(カバー材)カバーの切断寸法は下図を参照ください。



#### ②見切り(カバー材)カバーの取り付け

見切り(カバー材)カバーをベースに押し込んでセットします。



## 8. 見切り材(LPEOO2)の取り付け

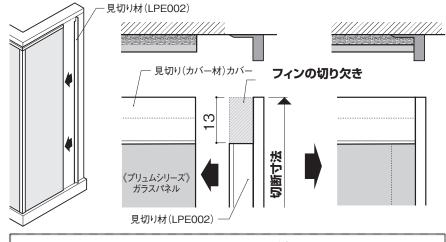
- ●見切り材としてLPE002を使用する場合の施工方法。
- ①**見切り材(LPEOO2)のカットと切り欠き** 見切り材(LPEOO2)は見切り(カバー材) カバー(LPEOO4)上端までの実測寸法で カットします。

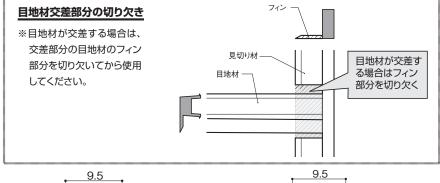
この時、セット時にフィンが見切り材ベースと 交差する部分を切り欠いてから使用します。

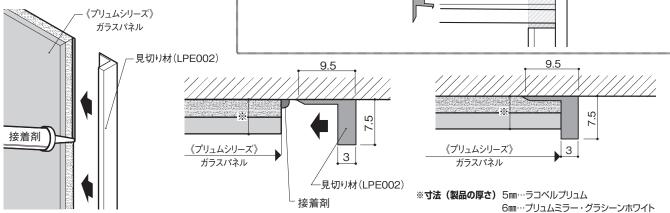
#### ②見切り材(LPE002)の取り付け

- ●下地面とガラスパネルのコーナー部に接 着剤を塗布します。
- ●見切り材の保護テープをはがし、《プリュムシリーズ》ガラスパネルの側面に、見切り材のフィンを押し込みます。

《プリュムシリーズ》ガラスパネルと見切り材の間にすき間が生じないように密着させてください。







## 9. 施工後の確認

#### 確認事項・1

□《プリュムシリーズ》ガラスパネルを貼り付けた後、しっかり圧着させたか?(P17確認)

#### 対応方法



両面テープの接着部を、布などを使用してしっかり押さえつけ、 下地材と十分圧着させてください。

特に下部や上部など、圧着し忘れないように端部までしっかり押さえて圧着してください。



#### 確認事項・2

【ラコベルプリュム直貼り接着工法「両面テープのみ」の場合】

□ ラコベルプリュムが下地材にしっかり接着されているか吸盤 にて確認したか?

#### 対応方法



下地材にしっかり接着されたか、吸盤(直径約40mm)をガラス面に貼り付けて引っ張り、ガラスが浮かないか確認してください。しっかり接着されていない場合は、再度圧着してください。 ※施工手順動画を参照してください。

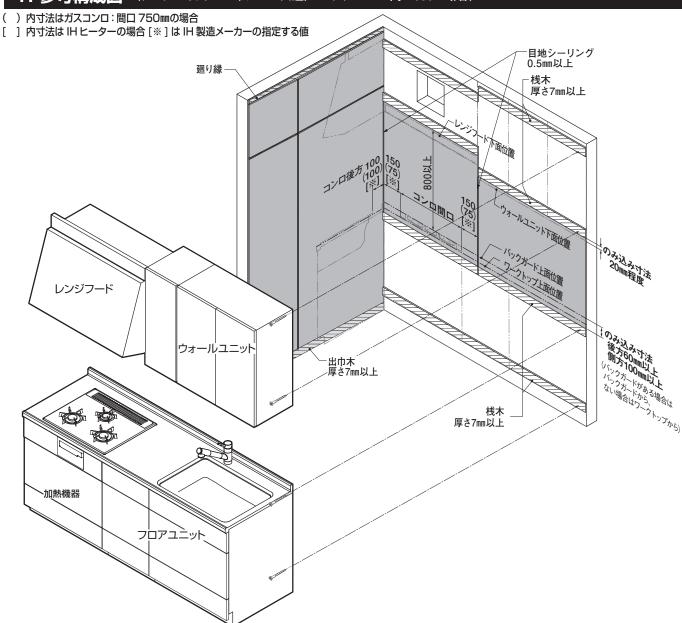


**/!**\注意

# キッチン周り(加熱機器周り)への施工

- ●火気設備の周囲に施工する場合は、防火上の規定に従ってください。
- ※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規定されています。 各自治体の規定に従った構造としてください。
- ●業務用コンロや調理器具に近接する部位には使用しないでください。
- ●加熱された鍋類が直接ラコベルプリュムに触れる事がないようにしてください。
- ●ラコベルプリュム施工上の注意を合わせてお読みください。
- ※下地は、不燃材料(石膏ボードなど施工可能な下地材(P5参照))を使用してください。
- ※弊社指定の両面テープ、または接着剤を使用してください。(P3 参照)
- ●遮熱板を使用する際は、各自治体の火災予防条例などにより規定されることがあります。 確認の上、使用してください。また、規定に従った構造としてください。

#### 1.参考構成図 (システムキッチン: (ガス・IH共通)ビルトインコンロ間口600の場合)



ラコベルプリュムの施工

●ラコベルプリュムの貼り付けは、P16「直貼り接着工法 (下地壁面がフラットな場合)」に従ってください。

#### ラコベルプリュム取り扱い上の注意

●キッチンユニットを設置する際は、ラコベルプリュムに強くぶつけないように注意してください。 ※固くとがったものでガラス面に衝撃を与えた場合、破損するおそれがあります。

※ラコベルプリュムのエッジ部分に強い衝撃があった場合、破損するおそれがあります。

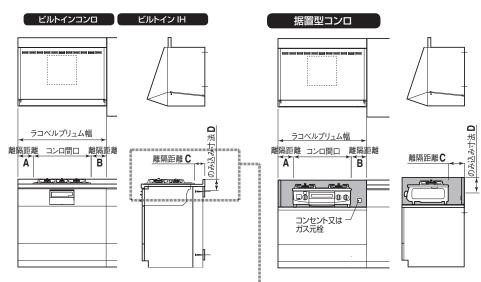
## 2. 割り付けの基本と注意 ●割り付けは、P10の加工基準を遵守の上、ご計画ください。

#### 割り付け前の確認

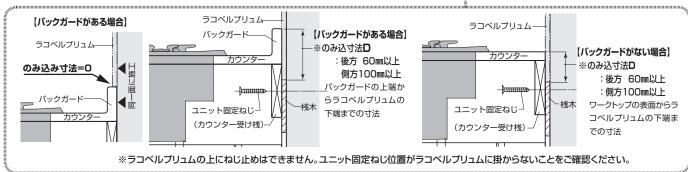
▲ガラスのみ込み寸法は、「天板またはバックガードの同一面に施工(ガラスのみ込み寸法=0)または、「のみ込み寸法=0)または、「のみ込み代(正面後方:60mm以上/側方:100mm以上)」が必要です。

▲下図ののみ込み寸法に従い、施工していただく必要があります。

▲火気設備の種類に応じた離隔距離 とのみ込み代をお守りください。



:「のみ込み代(正面後方:60m以上/側方:100m以上)」が必要です。



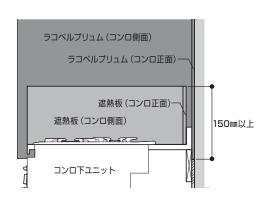
- ■チェックリスト ①ガラスのみ込み寸法は:「天板またはバックガードの同一面に施工(ガラスのみ込み寸法 =0)または、
  - ②以下の条件に適合すれば、ラコベルプリュムの施工が可能です。
  - ③以下の条件に適合しない場合は、自立式の遮熱板を使用してください。

			ビルトインガスコンロ						ビルトイン IH	据置型コンロ
	コンロ間口:600mm コンロ間口:750mm						Omm		が 「加重空コンロートーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
	離隔距	離 <b>A·B·C</b>	A:150mm以上 E	B:150mm以上	C:100mm以上	A:75mm以上   B:75mm以上   C:100mm以上		製造メーカーの指 定する値	A:B:C:150m以上	
のみ込み寸法ロ	のみ込み1	後方 ※ 1	・60mm以上 ・バックガードがある	る場合はOmmまた	さは60mm以上	・60mm以上 ・バックガードがある場合は0mmまたは60mm以上			60㎜以上	60㎜以上 ※2
		側方 ※ 1		100㎜以上		100mm以上		100㎜以上	100㎜以上	

- ※ 1. 必要なのみこみ寸法 D は後方 60mm以上、バックガードがある場合は 0mm または 60mm 以上、側方 100mm以上です。
  - ・バックガードがある場合はバックガードの上端から ラコベルプリュムの下端までの寸法
  - ・バックガードがない場合はワークトップの表面から ラコベルプリュムの下端までの寸法
  - ・ラコベルブリュムの上にねじ止めはできません。ユニット固定ねじ位置がラコベルプリュムに掛からないことをご確認ください。
- ※ 2. ラコベルブリュムの切り欠き、穴あけはできません。 コンセント・ガス栓位置はラコベルプリュムの下端 より下に設置してください。
- ※以上の条件を満たしても直接炎がラコベルプリュムに当たらないようにご注意ください。

#### 遮熱板を使用する場合

- ↑ ラコベルプリュムが高熱に さらされると、「熱割れ」 のおそれがあります。
  - コンロ前では、ラコベル プリュムの端部から 150 mm以上隠れるような遮熱板 (ステンレス板)を設置し てください。(正面・側面)
- 遮熱板は、ラコベルプリュムに全面接着させないでください。



#### 割り付けの基本 コンロ部縦断面 ユニット部縦断面 - 廻り縁 (20 程度 ユニット固定位置 (20程度) のみ込み寸法 桟木 レンジフード ウォールユニット のみ込み寸法 (3) ベルプリュム (ユニット型) 目地 目地 ○み込み寸法□ \_3 **2**) フンジレード下端 4 ールユニット下舗 ラコベルプリュム ラコベルプリュム (コンロ前) 幅 /ラコベルプリュム (ユニット前) 幅 離隔距離 A+コンロ間口+離隔距離B キッチン高さ フロアユニット コンロユニット

ユニット固定位置

#### 1.目地処理

- 目地材・見切り材はコンロ周りでは使用しないでください。

#### 2.コンロ周りの割り付け

出巾木

●コンロ周りのラコベルプリュムの幅は、

#### 離隔距離A+コンロ間口+離隔距離B 以上とします。

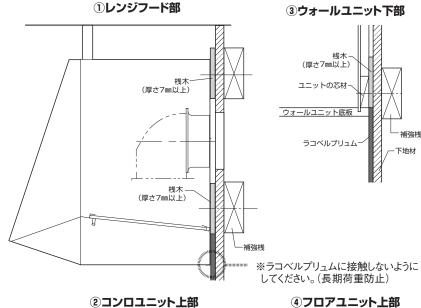
- ●ワークトップより600mの高さまでは目地 を入れないでください。(IHの場合は800 mm以上)
- ▲離隔距離内に目地を入れると熱割れの危険性があります。
- ●のみ込み代 (後方:60m以上、バックガードがある場合は0mmまたは60mm以上/側方:100mm以上)が必要です。
- ▲指定値以下ですと熱割れの危険性があります。
- <u>↑</u>ラコベルプリュムの切り欠き、穴あけはできません。(P10参照)

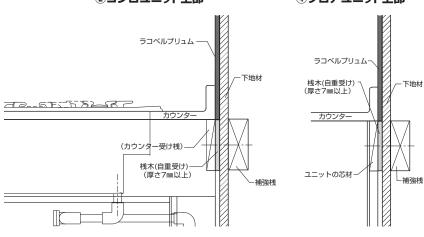
#### 3.桟木(現場調達)

●ラコベルプリュムの上端・下端部分に桟木 (厚さ7mm以上)を設置してください。

#### 4.廻り縁・出巾木(現場調達)

●廻り縁・出巾木は厚さ7㎜以上を設置してく ださい。





## 専用部材(見切り・目地・入隅・出隅)の納まり

#### ※寸法(製品の厚さ) 5mm…ラコベルプリュム 目地 6㎜…プリュムミラー・グラシーンホワイト 目地材 LPEOO1 《ラコベルプリュム》 目地材 LPE002 《プリュムシリーズ》 9.5 9.5 《プリュムシリーズ》 3 ラコベルプリュム 《プリュムシリーズ》 ラコベルプリュム 5 ガラスパネル ガラスパネル 目地材 LPEOO1 《プリュムシリーズ》 《プリュムシリーズ》 《プリュムシリーズ》 ガラスパネル ガラスパネル 見切り 見切り材 LPE002 《プリュムシリーズ》 見切り(カバー材)LPE003/004《プリュムシリーズ》 9.5 《プリュムシリーズ》 《プリュムシリーズ》 3 ガラスパネル ガラスパネル 13 入隅 出隅 入隅材 LPE002 《プリュムシリーズ》 出隅材 LPE005 《プリュムシリーズ》 《プリュムシリーズ》 ガラスパネル 《プリュムシリーズ》 ガラスパネル \* 9 က 9.5 ω. プリュムシリーズ》 ガラスパネル 10 \* 《プリュムシリーズ》 ガラスパネル

#### ●お問い合わせ

#### AGC株式会社 ビルディング・産業ガラスカンパニー

カスタマーセンター(お問い合わせ受付時間/平日9:00~12:00、13:00~17:00) **0570-001-555**(ナビダイヤル、全国一律市内通話料金) PHSの場合は、**050-3377-5419**におかけください。

## 軽量内装ガラス: プリュムシリー

Lacobel<sup>®</sup>Plume<sup>®</sup>

Plume<sup>®</sup> Mirror

Glascene® White

## 施工前・施工後 チェックシート

<u>\_\_\_\_\_\_</u>注意

●プリュムシリーズの施工にあたって、施工前の確認・施工後の確認を必ず実施してください。 施工前・施工後の確認が不十分な場合、施工不良による、脱落や破損のおそれがあります。

## 施工前の確認

確認事項		対応方法
下地は施工要領書に記載の 施工可能な下地である	NO	石膏ボード・ケイ酸カルシウム板(表面加工あり)・金属板に施工してください。(施工要領書P5参照)
壁面は水平・垂直である	NO	補修が必要です。
壁面に不陸はない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NO	1mm以上の段差、5mm 以上の不陸がある場合、補修が必要です。
下地に浮きはない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NO	タッカーなどで補修します。
下地にゴミ、ほこり、汚れはない	NO	下地のゴミ、ほこり、汚れが著しい場合接着不良の原因となります。 中性洗剤などで汚れを除去し、乾いた状態にしてから施工を始めてください。
下辺は巾木等で支持される	NO	必ず下辺を支持してください。※支持部は7mm以上の出巾木、アングルなど
当施工要領書を確認した	NO	施工前には、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。
施工手順動画を確認した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	NO	https://www.asahiglassplaza.net/カラーガラス特設サイト/ブランドラインナップ/ラコベルプリュム内の動画を確認してください。
施工後の確認		
確認事項		<u>対応方法</u>
《プリュムシリーズ》ガラスパネルを貼り付けた後、しっかり圧着させたか?(施工要領書 P17 確認)	·····	両面テープなどの接着部を、布などを使用してしっかり押さえつけ、下地材と十分圧着させてください。特に下部や上部など、圧着し忘れ無いように端部までしっかり押さえて圧着してください。
ベルプリュム直貼り接着工法「両面テープのみ」のも ラコベルプリュムが下地材にしっかり接着 されているか吸盤にて確認したか?	•	下地材にしっかり接着されたか、吸盤 (直径約40mm)をガラス面に貼り付け て引っ張り、ガラスが浮かないか確認 してください。 NO しっかり接着されていない場合は、再度圧着してください。 ※接着剤使用の場合は吸盤は使用し ないでください。

ないでください。

※施工手順動画を参照してください。

## 軽量内装ガラス: プリュムシリーズ

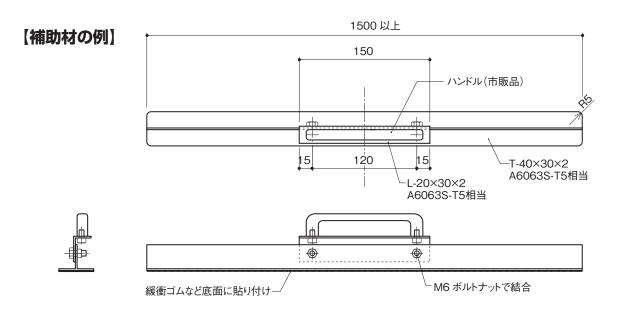
Lacobel®Plume®

Plume<sup>®</sup>Mirror

Glascene® White

## 運搬・取付時のたわみ防止補助材

- ●サイズH1500mm以上の場合は、たわみ防止のため、補助材を《プリュムシリーズ》 ガラスパネルの両端部に取付けて施工してください。
- ※H2410mmの場合は、1800~2000mm程度が目安となります。



#### 【補助材の貼り付け】

- ●《プリュムシリーズ》ガラスパネルの表面に補助 材をセットし、両側を梱包テープで貼り付けます。
- ※製作した補助材の接着力などは、予め確認して からご使用ください。
- ※補助材を外す時に、ガラス面を傷つけないよう、 ご注意ください。

# 【《プリュムシリーズ》ガラスパネルの 運搬・取付作業】

●サイズの大きい《プリュムシリーズ》ガラスパネルの運搬・取付け作業は2人で行ってください。

